

R4 年度 ぐっどういる境南運営推進会議（認知症対応型通所介護） 議事録 【第 1 回】

日時：令和 4 年 10 月 17 日（木） 16：30～17：00				場所：ぐっどういる境南 2F 山桃			
利用者	A 様	地域代表		地域包括	日赤在支	通所介護	3 名
家族	A 様のご家族	地域医療 機関	B 様	市職員	高齢者支援課 職員		
■議題 1. 出席者紹介 2. 活動報告及び利用者状況 ①活動報告 ②利用者状況 ・市内市外の登録者数 ・男女比 ・曜日別利用者数 ・介護度別利用者数 ・月別出入状況 3. ひまわり報告 4. 行政からの情報提供 5. 地域包括支援センターからの情報提供 6. その他				■議事内容 議事進行 施設長 1. コロナ禍の為ひさしぶりの対面開催、自己紹介をする。 2. 活動報告・利用者状況報告（資料参考） 3. ひまわり報告（資料参考） 【ひまわり担当職員】 「認知症＝何もできなくなる、落ちてきた」と思ってしまうますが、できることや興味のあることに目を向けて活動をしています。言葉の理解に関しても、「わからない」で片づけずに、話しかけ、言葉だけではなく動作なども加え、持てる力を大事にその人らしさを大切にするようにしています。 利用者同士のコミュニケーションの一環として、おやつの配膳を手伝っていただける様子が見受けられます。 また、言葉を楽しむ時間を作って昔言葉やことわざや歌など刺激のあるものを出して季節を楽しんだり関心をもったりできることを大事に活動しています。 【地域包括】 デイサービスの稼働率低下はコロナ禍もあり顕著で、利用者さんも閉じこもりがちになっているように感じます。少しずつ対面での活動が増やすことに、地域としても力を入れています。要介護者が在宅で生活を継続していくうえで、このような施設があることは大きな意義がある			

と感じられます。

（質問）質を維持する努力をしていると思いますが、以前と同じように研修等は実施していますか？

（回答）

研修などの計画は立てていますが、なかなか実施できていないのが現状です。

また研修がオンラインで実施される傾向にあるので、活用して質を高めることに重点をおかなければならないと思っています。

【市職員】

事業所ごとに違いはありますが、認知症対応型通所介護の特性を生かすように努力しているように思います。

認知症の方が安心できる場所であるように、環境の変化を少なくし、同じ職員を配置したり利用者さんと向き合ったりしている姿がみられます。また、連絡帳などを通して、家族と積極的にコミュニケーションをとられている話を聞き、認知症対応型通所介護の意義を見出そうとする様子が印象に残りました。

最近では全体的にデイサービスの利用率が低下傾向にあるため、行政としてもできることを模索していきます。

【地域医療機関】

何年かぶりの出席です。認知症の診断を受けた方でも医療や介護サービスにつながっていない方が一定数います。年齢も若い方が増え、例えば60代の方で支援を受けていない状況もあります。デイサービスは交流をしながら困っていることなどを話せる場所です。例えば、主治医の先生に介護保険の利用を勧めてもらい、「デイサービスってこんなところですよ、介護保険

を使うといいですよ」と助言をいただくなど力を借りるといいかもしれません。

【利用者家族】

毎日の連絡帳などで様子がわかり助かっています。大変な日々が普通になっています。事業所からは、自分でも不便に思っていたことを聞いてアドバイスくれたり、これからについて教えてくれたり、自分の気持ちを後押ししてくれるのでありがたいです。

自分では気づかないことを教えてくれて家でも生かすことができるのでうれしいです。

【相談員】

毎日、楽しくにぎやかに利用者さんの持ち味、できることを引き出せるようにスタッフががんばっております。引き続き協力しながら運営してまいります。